

令和2年度シラバス

教科名	国語	科目名	国語総合	履修学年	1年生	履修形態	必修
単位数	4単位	時数	140時間(50分授業)	担当者名	水澤 雄		

教科書	大修館書店『新編国語総合 改訂版』	副教材	尚文出版『常用漢字ダブルクリア 四訂版』
-----	-------------------	-----	----------------------

学習目標	国語を適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に関する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
指導の重点	①基本的な語彙力を身につける。 ②評論は、主語述語、接続詞、話題の転換点、キーワード等に注目しながら論旨を読み取る。 ③小説は、心情語、心情を表す動作・風景描写に注目して人物の心情をつかむ。 ④自分の感想、経験、考えを述べる経験を繰り返す。

学期	考查	単元	時数	学習内容	評価の観点				
					関	話	書	読	知
第1学期	中間	・「ワンダフル・プラネット」	7	・随想を読み、筆者の感性を味わう。	○			○	○
		・小説を楽しむ「子供たちの晩餐」	7	・登場人物の心情を丁寧に追いながら読む。	○		○	○	
		・語句学習	2				○		○
	期末	・歴史的仮名遣いと古文読解の基礎	6	・古文読解の基本的事項を理解する。	○	○		○	
		・古典文法の基礎	5	・文節、品詞などの基本事項を理解する。	○	○			○
		・古典に親しむ「ねずみの婿とり」	2	・説話、随筆を丁寧に読み取り、古文のおもしろみを味わう。また、古文特有の文章のリズムを体得する。	○	○	○	○	
第2学期	中間	・「春はあけぼの」	3						
		・語句学習	2				○		○
		・漢文訓読の基礎	5	・熟語の構成、返り点の読み方など漢文訓読の基礎を確実に身に付ける。	○	○		○	
第3学期	期末	・漢文のとびら（「守株」）	5		○	○		○	○
		・日本語を見つめる「漢字の性格」	13	・文章の論理的構成を把握する。	○		○	○	○
		・社会に生きる「何のために『働く』のか」	12	・文章表現の豊かさを学ぶとともに職業についての考察を深める。	○	○		○	○
第4学期	中間	・語句学習	2				○		○
		・「にくきもの」「二位のせうと」	9	・古典世界の随想を味わう。	○		○	○	○
		・漢文のとびら（「蛇足」ほか）	8	・熟語の構成、返り点の読み方など漢文訓読の基礎を確実に身に付ける。	○	○		○	○
第5学期	期末	・漢文句形	8				○		○
		・語句学習	2				○		○
		・いのちと心「心が生まれた惑星」	13	・科学の発達と人間の心について考える。	○	○		○	○
第6学期	学	・「高名の木登り」「鶏口牛後」	13	・筆者の視点を把握し、論理の展開を追う。	○		○	○	○
		・小説を味わう「羅生門」	13	・人物の心情を追いながら読み、小説特有の表現を味わう。	○		○	○	
		・語句学習	3				○		○

計 140 時間 (50 分授業)

※ 評価の観点 関：関心・意欲・態度 話：話す・聞く能力 書：書く能力
読：読む能力 知：知識・理解

(評価の観点)

	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価の観点	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり、聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・授業や、長期休業中の課題など、学習活動への取り組み姿勢。	・テキストの音読。古文、漢文の聞き取りや暗誦のテスト。	・学習プリントやノート整理の状況。 ・課題作文。	・語彙力テストや定期考査の成績。授業時の発問に対する回答。	・語彙力テストや定期考査の成績。

担当者から一言	<p>「国語総合」は、国語科の学習の基本となる科目です。授業時数や学習内容も豊富ですが、意欲的に取り組み、基本的事項を確実に定着させるよう、努力してください。</p> <p>長期休業中、『常用漢字ダブルクリア』の課題に取り組んでください。新学期に課題テストを実施します。</p>
---------	---